

1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 平成 31 年 1 月 10 日 (木)
- 2 開 催 場 所 新館 8 階 教育委員室
- 3 出席した委員 田淵教育長、吉田委員、播委員、坂元委員、廣岡委員
- 4 出席した職員 高井教育総務部長、大西教育指導部長、
吉田教育総務部次長、平田教育指導部次長、
山本教育指導部学校教育担当参事、
島津学務課副課長、福島社会教育・スポーツ振興課長、
神吉学校教育課長、今津青少年育成課長、
加藤教育研究所長、沼田文化財調査研究センター所長、
山野教育総務課副課長、藤崎教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 1 人
- 6 議 事 の 要 旨
- 開 会 午後 4 時 00 分
 - 会議録署名委員指名のこと
播委員に決定
 - 12 月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
協議事項 1 「職員の懲戒処分について」は非公開とし、他は公開することに決定

(専決報告)

1 事務局職員の異動について
(教育総務部次長から説明)
承認

委員：死亡した教育総務課主幹の併任については、来年度には補充されるのか。

事務局：学校園の工事等を担当する営繕課職員については、教育総務課の併任が発令されており、今回の異動で補充されている。

委員：学校を含む教育委員会関係職員が死亡等した場合、教育委員会への報告はないのか。特に現職の場合は教えてもらいたい。

事務局：教育委員会への正式な報告事項ではないが、現職死亡については、必要に応じて情報提供するようにしたい。

(協議事項)

1 職員の懲戒処分について
(議事を非公開とする)

○ 次期定例教育委員会予定日のこと
2月7日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育委員諸報告

[吉田委員から]

(1) 第2期かこがわ教育ビジョンの進捗状況について

教育アクションプランについては、単年度の実行計画として、毎年度アクションプランの点検・評価を実施しているところであるが、5年間の目標である第2期かこがわ教育ビジョンの進捗状況が分からないため、本年度の教育アクションプランの点検・評価の前に、できるだけ早く教育委員会へ進捗状況について提案してもらいたいと考えている。このことについて、他の委員にも意見を伺いたい。

委員：事務事業評価を担当する立場としては、事業単位の進捗状況を示すことはできるが、現在の「第2期かこがわ教育ビジョン」は策定時に数値目標等を設定していないことから、全体の進捗状況を具体的に提案することは困難だと思う。県教育委員会では、ひょうご教育創造プランの各年度の実施計画において、基本方針の基本的方向、いわゆる市でいう重点目標ごとに数点の指標を定め、具体的な目標値を設定し

ており、ある程度進捗割合が分かるようになっているが、その指標や目標値の妥当性はどうかといった課題もあるように思う。また、基本的方向の下には施策として多くの事業があり、教育創造プランの進捗状況については、これらの事業の積み重ねで判断する必要があると思う。

委員：教育ビジョンの具体的な方針に掲げる取組のうち、目標値の進捗割合ではなくても、どの取組が完了しており、どの取組が継続、未着手等となっているのか、大まかでも内容があるのか分かるものがあればよいと思う。

委員：国の「健康日本21」では、別表において目標項目、目標値、目標年次が設定されており、年次推移が確認できるようになっている。全てを数値目標で定量的に表せるものでないが、完了、継続、未着手といった大まかにでも分かれば、今後評価する上で委員の理解も進み、より適正な評価につながると思う。

事務局：本市ではアクションプランの単年度の取組を評価しながら、評価方法についてこれまで様々な改善を実施してきた。平成29年度の点検・評価では、教育ビジョンの進捗を総括的に評価できないかということを検討し、さらに大きな視点で評価するため、重点目標評価を総括する基本的方向の評価を新たに実施した。これは単年度評価ではあるが、今後の教育ビジョン全体の評価につながればという考えのもとで実施したものである。また、教育ビジョンの内容は、各取組の推進や充実といった定性的な表現で記載しており、具体的に数値目標を設定していないことから、一律に進捗状況を示すことは困難であるが、このような課題があることから、第3期教育ビジョンでは妥当な数値目標を掲げ、進捗状況の明確化を図りたいと考えている。

委員：これまでの委員の意見や事務局の回答を踏まえると、近々に進捗状況の提案を求めることは困難だと感じた。しかし、各事業の積み上げではなく、教育ビジョンから見た現在の到達度を俯瞰的に測ることが重要だと考えている。何よりも未着手の取組がないかという点が非常に気になるところであり、教育ビジョンに掲げる各取組が5年間で確実に実行できるように、委員として十分に進捗状況を理解しておく必要がある。進捗状況を把握する必要性については他の委員も概ね同様の意見であったので、今後の予算への反映についても考慮し、本年度の点検・評価までのできるだけ早い時期に進捗状況を示してもらいたい。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 加古川市立小中学校空調設備にかかる導入事業者の決定について

加古川市立小中学校空調設備の導入事業者が決定したので報告する。

(2) 中学校昼食サポート事業の休止について

給食未実施中学校において、弁当を持参できない生徒に対する支援として実施してきた、弁当販売事業を平成31年度から休止する。

委員：学校に確認したところ、事業休止に伴う大きな支障はないということだが、具体的にどういうことか

事務局：全校平均すると1校あたり1日1食未満であり、休止したとしても購買の利用や教員が利用している弁当注文でも対応可能であるとの確認を得ている。

(3) 加古川市学校給食展の開催について

加古川市の学校給食の取組みを広く市民に紹介し、理解を深めてもらうことを目的に学校給食展を開催する。

日時：1月26日（土）午前10時から午後3時30分

場所：加古川北公民館

テーマ：学校給食展 ～心とからだを育てる学校給食～ 30年後の君は元気？

内容：パネル展示、釜混ぜ体験、児童作品展示、試食コーナーなど

委員：昨年度にも言ったことであるが、給食展の内容に中学校給食に関する情報発信を盛り込む予定はあるのか。

事務局：委員のご意見を踏まえ、昨年度は小さいながらも中学校給食に関するPRブースを確保し情報発信したところであり、本年度も同様に取り組む予定である。

(4) 就学援助（入学準備金）の申請受付について

入学準備金の申請受付を1月28日（月）から2月15日（金）まで行う。

以上、4件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) ツバルオリンピック委員会の訪問について

ツバルオリンピック委員会関係者が、1月16日（水）から20日（日）まで、本市を訪問される。

委員：事前合宿等の実施に向けた覚書を締結し、ホストタウン申請を行えば認定されるのか。

事務局：これまでの事例を踏まえると、認定されるものと考えている。

委員：ツバル国は地球温暖化や海面上昇等による地球規模の要因により、水没する危機のある国であり、スポーツの推進だけを目的とするのではなく、このような環境問題等についても子どもたちや市民に知ってもらうような取組は考えているのか。

事務局：委員のご意見のとおり、環境啓発という市民への効果も期待できることも勘案して誘致活動を行うものであり、子どもたちへの環境教育を含め、関係部と連携しながら進めていきたいと考えている。

(2) 加古川市小中学生理科作品展、書写展、美術展の開催について

加古川総合文化センターにて、加古川市小中学生作品展を開催する。

(3) 平成30年度 加古川市ふれあい作品展について

「平成30年度 加古川市ふれあい作品展」が2月5日（火）から実施される。

委員：これらの作品は、どこで作られたものか。

事務局：作品の多くは学校の授業中に作成されたものである

委員：そのような事情であれば、次の冬季野外学習も同様であるが、主催又は共催に加古川市教育委員会が入るべきではないか。教育委員会として責任を持って関わっている取組であることを示すべきである。

事務局：ふれあい作品展については、市福祉部が中心となり教育委員会も連携しながら進めている。また、冬季野外学習については、加古川市心身障害児（者）連絡協議会が中心となり進めているが、教育委員会も事務局として深く関与しているため、主催又は共催等の取扱いについては、今後改めたい。

(4) 平成30年度 冬季野外学習について

1月25日(金)に、市内の特別支援学級の児童生徒が、神鍋山スキー場で冬季野外学習を行う。

(5) 「加古川市歴史文化基本構想(案)」に関するパブリックコメントの実施結果について

「加古川市歴史文化基本構想(案)」に関するパブリックコメントを実施した。

以上、5件について報告

○ 閉 会 午後5時00分